


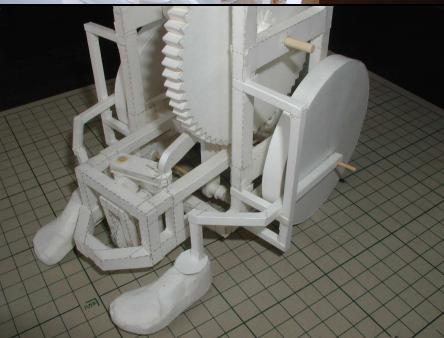
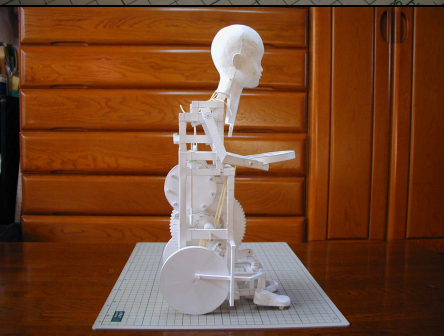


## 18. 擬装動作部の組立

18-1		<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 首振り用のリンク、リンク固定用の軸受け、カムを各々作る。</li> <li>2) 頭部の首下部に、エリを取り付けるためのプレートを接着し、その裏側に頭部とプレートをまたぐように、首振り用のレバーとなる四角柱を接着固定します。</li> </ol>
18-2		<ol style="list-style-type: none"> <li>1) リンク回転軸をフレームに通し、リンクがガンギ車側面に当たるように位置を合わせ、リンク両サイドから軸受けで挟み込み軸受けを回転軸に接着固定します。</li> <li>2) ガンギ車側面にカム部品を接着固定します。</li> </ol>
18-3		<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 頭部刺し込み用の四角柱の受けをメインフレーム上部中央に接着固定します。</li> <li>2) 頭部を受けに差し込み（接着はしない）、頭部が起き上がる方向にバックテンションのゴムを張ります。</li> <li>3) リンクと頭部レバーを糸で繋ぐ（糸がたるまないように）。この時リンクがガンギ車の側面に接し、なおかつバックテンションが最小となるようにゴムの張りを調整します。</li> </ol>
18-4		<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 車輪側面の中心から 10mmの位置に、足部クランクの回転軸を取り付ける穴を開けφ 2mmの竹ヒゴの回転軸を接着します。</li> <li>2) 反対側の車輪側面に、1) 項と同様に 180度位相をずらして側部クランクの回転軸を取り付けます。</li> <li>3) 足部クランクを回転軸に差込み、抜け止めの軸受けを接着し、写真のようにクランクバーのガイドとなる、四角柱を取り付けます。</li> </ol>
18-5		<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 首振り動作および、足部のクランクによる交互動作を付加したことにより、動力ゴムへの負荷がかなり増大することになるので、ここで動力ゴムを見直し本数を増やします。ゴムの本数は、実際に走行させてみて最小となるように決めます。この時 各擬装動作による負荷をなるべく小さくなるように調整することが重要です。</li> </ol>